



明日香・聖徳通信



令和6年9月10日発行 校長 角田 哲典 第5号

この夏、4年に一度の祭典オリンピック・パラリンピックがパリで行われました。金メダルを獲得した選手の喜びいっぱいの姿はもちろんですが、メダルに届かなかった選手たちが胸を張り、笑顔で堂々としている姿が印象的でした。学校ではよく「自己肯定感」という言葉を使います。この言葉は本来、「成功だけでなく、失敗も全て受け入れて自分を肯定できる力」という意味です。自分が望んでいた結果がでなかった際にも、それを受け入れることができる選手たちは、まさに自己肯定感の高いロールモデルそのものだと感じました。

学校の教育活動にも点数や評定がついたり、順位や合否があったりすることもあります。

「結果だけでなく、子どもが努力や挑戦をした過程を評価し、認めること」や「人と比較するのではなく、その子自身の成長や努力を評価すること」で、子どもたちの自己肯定感を高め、子どもたちが楽しく充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。保護者、地域のみなさまのご支援、ご協力を今学期もよろしく申し上げます。

□国際交流（中学校）

「日韓のかけ橋」

○日 時 令和6年8月7日（水）～8月9日（金）

○訪問先 大韓民国忠清南道扶余郡 扶余（プヨ）中学校、ソウル市内ほか

姉妹都市学校間交流事業「日韓のかけ橋」を実施しました。この事業は明日香村の歴史・文化の源流である百濟文化の発祥の地、大韓民国忠清南道扶余郡を訪問し、明日香村と扶余郡のつながりを再認識するとともに、学校訪問や現地研修を通して交流を深め、郷土明日香をグローバルな視点から情報発信できる人材の育成を目的としています。3年生9名が参加し、扶余中学校との交流会では、お互いの学校を紹介したり、文化交流をしたりと、和気あいあいの中、有意義な交流会となりました。



「明日香の風」

○日 時 令和6年8月15日（木）～8月24日（土）

○訪問先 オーストラリア アデレードほか

この事業は、2年生（明日香村在住）10名を派遣し、学校訪問やホームステイを通して、英語研修はもちろんのこと、風俗・習慣、文化や自然に触れることで国際理解を深め、明日香村の歴史遺産や自然環境を広く世界にアピールできる

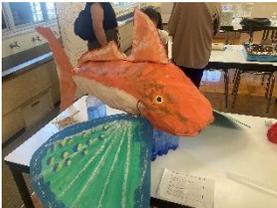
人材の育成を目的としています。この2つの交流事業を通し、国際化の進展する社会にあって、国際社会の一員として活躍できる豊かな国際感覚が備わってほしいと願っています

夏の思い出作品展開催（小学校）

家庭教育学級研修部の主催で夏の思い出を作品として展示する「夏の思い出作品展」を9月7日（土）・8日（日）に開催いたしました。

図画・工作・手芸・旅行記・写真・採集観察記録等、盛りだくさんでした。一人の力で作品づくりに挑戦した子もいれば、友だちと一緒に、あるいは家族で…と協力して作品を仕上げた子もいます。とても力作揃いでした。

「夏の思い出作品展」を開催するにあたり、家庭教育学級研修部の部員のみなさま始め、保護者のみなさまの協力により無事終わることができました。ありがとうございました。



防犯訓練を行いました（小・中学校）～不審者対応訓練～

小学校では8月2日（職員対象）に実施しました。檀原警察署生活安全課の方々をお招きし不審者が教室に侵入したという状況での訓練でした。実際に、「さすまた」「防犯用スプレー」「教室にバリケードをつくる」等の子どもたちを守るための術を教えてくださいました。

中学校では8月19日（職員対象）と9月3日（生徒を交えて）、防犯訓練を行いました。小学校同様に不審者が校内に侵入したという状況での訓練です。事態が発生したとき、どうすればよいかを生徒も職員も臨機応変に判断することの難しさを痛感しました。

訓練後に檀原警察署の方から職員の動き、学校の対応などについてご指導をいただきました。今後も子どもたちの安全を守るための体制を見直していきます。

制服リサイクル

9月7日（土）～8日（日）小学校のランチルーム2Fにおいて、幼小中の制服リサイクルが行われました。幼小中の役員さんはじめ、保護者のみなさまご協力ありがとうございました。



お知らせ

中学校 2年数学担当の西野芳明先生が一身上の都合により、7月末で退職されました。

新たに、木下富雄先生に2年生の数学を担当していただきます。